

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	頭頸部がん治療終了症例における予後予測についての多機関共同前向き 観察研究
	研究目的	頭頸部がんにて当院を受診された患者さんで、積極的治療が適応外または 終了となった患者さんにおいて、残された余命を予測することにより、患 者さんにとって最善の対応をとることが可能になるとされています。他が んにおいては予後予測ツールを用いた予後予測の報告がなされてきてい ますが、頭頸部がんでの報告はほとんどありません。本研究により頭頸部 がんに対する医療者による予後予測の精度や、他がん腫で報告されている 予後予測ツールの頭頸部がんにおける有用性を検討します。
	研究対象者	頭頸部がんの患者さんで、倫理委員会承認日から 2024 年 9 月 30 日の間 に積極的治療が適応外または終了と判断された 20 歳以上の方で、当科に 通院・入院された方。
	研究期間	西暦 2022 年 2 月 15 日～西暦 2026 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	橋本香里
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	頭頸部外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	香川県立中央病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 平田裕二 香川労災病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 津村宗近 川崎医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 福田裕次郎 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 秋定直樹 愛媛大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 三谷壮平 国立病院機構四国がんセンター 頭頸科・甲状腺腫瘍科 門田伸也 広島大学大学院 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学 上田勉 鳥取大学医学部感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 藤原和 典 兵庫県立がんセンター 頭頸部外科 岩江信法